

第3 空間放射線量の測定

1 目的

大田区では東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故を受け、放射線をめぐる区民の不安に応えるため、平成23年度より区内の定点で測定を行っている。

2 測定方法

(1) 測定地点

大田区蒲田五丁目35番1号（本蒲田公園）

(2) 測定方式及び測定頻度

シンチレーションサーベイメータ式放射線測定器を用いて、測定地点の地上100cm、50cm、5cmの大気中放射線量を測定する。30秒間隔で計5回の平均を測定値とした。測定は月に1度の頻度で行った。

3 測定結果

(1) 令和5年度

測定結果を表に示す。年間を通して0.05~0.07 μ Sv/hを推移しており、季節、天気、地表からの高さ、いずれにおいても結果に影響は見られなかった。

表 空間放射線量測定結果

測定日	天気	地表からの高さ			測定日	天気	地表からの高さ		
		100cm	50cm	5cm			100cm	50cm	5cm
令和5年4月4日	晴れ	0.06	0.06	0.06	10月3日	晴れ	0.06	0.07	0.06
5月2日	晴れ	0.06	0.06	0.05	11月7日	晴れ	0.05	0.06	0.06
6月6日	曇り	0.06	0.06	0.06	12月5日	曇り	0.06	0.07	0.07
7月4日	晴れ	0.06	0.06	0.06	令和6年1月9日	晴れ	0.06	0.06	0.06
8月1日	曇り	0.06	0.07	0.07	2月6日	雨	0.06	0.06	0.06
9月5日	晴れ	0.05	0.05	0.05	3月5日	曇り	0.06	0.06	0.06

μ Sv（マイクロシーベルト）/h（時）

(2) 経年変化

測定を開始した平成23年度から令和5年度まで、100cmでは0.03~0.07 μ Sv/h、10cmでは0.05~0.08 μ Sv/h、5cmでは0.05~0.09 μ Sv/hで推移している。

<基準の目安>

国際放射線防護委員会2007年勧告より、国は長期的な目標として平常時の追加被ばく線量を年間1mSv以下としている。この値から換算した1時間あたりの空間線量率は、0.23 μ Sv/hと示している。